

問題意識

- 日本の競争力強化、安定的な経済成長の実現に向け、欧州各国の競争力を支える制度、基盤に注目。
- 特に、欧州の「勝ち組」とも呼ばれるドイツに焦点を当て、その改革の歴史や成長戦略から日本に対する示唆を得る。

【はじめに：委員会の問題意識と活動経緯(p.3)】

ドイツの競争力に学ぶ

【ドイツの競争力に学ぶ(p.5~)】

- 1990年代後半のドイツは、低成長・高失業・財政赤字・経常赤字を抱える「欧州の病人」
- 2000年代半ば以降は安定成長、債務危機等の影響からの回復も早く、「欧州の勝ち組」に
- この復活を支えたのは、「シュレーダー改革」、「内在する強みの発揮」、「グローバル化対応・国際環境の活用」という三つの要素。

シュレーダー改革 (p.9)

- 社会民主党出身のシュレーダー前首相(1998~2005)が、以下、多分野にわたる構造改革をパッケージとして断行。
- ✓ **労働市場改革** (p.10~)
失業者保護から労働参加促進へ / 労働市場柔軟化
- ✓ **社会保障制度改革** (p.13~)
社会保障給付抑制、財政の持続性向上
- ✓ **医療制度改革** (p.15~)
公的保険範囲見直し・自己負担拡大による負担抑制
- ✓ **税制・企業制度改革** (p.17~)
産業の新陳代謝促進、立地競争力強化

- ✓ 高失業の解消
- ✓ 単位当たり労働コスト抑制
- ✓ 社会保障・医療負担の抑制
- ✓ 産業の新陳代謝促進

マクロ経済指標の回復
産業・企業コスト抑制
立地競争力強化
(p.20~)

内在する強み (p.24)

- ドイツ独自の強みが経済復活を下支え、シュレーダー改革により一層発揮される結果に。
- ✓ **技術力ある製造業基盤** (p.24~)
- ✓ **国際競争力ある中小企業** (p.25~)
- ✓ **研究開発における産学官連携体制** (p.26~)
- ✓ **人材育成・活用** (p.28~)

EU/ユーロ圏という環境下、
中小企業を含む製造業と
いう強みをテコに...

- ✓ 輸出・対外投資拡大
- ✓ 対内投資拡大

「欧州の勝ち組」へ
(p.36)

グローバル化 (p.31)

- 国内産業のグローバル化対応を進めることで、域内無関税のEU市場、統一通貨ユーロという利点を活用
- ✓ **EU、ユーロ圏にあることの貿易・投資上の利点** (p.31~)
→ 製造力などの強みによる輸出優位性
→ ユーロ為替相場上の優位性
- ✓ **EU/ユーロ圏外への輸出・投資拡大(リスクヘッジ)** (p.32~)
- ✓ **立地競争力強化と対内直接投資の誘致** (p.34~)

欧州の他国の改革事例に学ぶ

【欧州の他国の改革(p.37~)】

スウェーデン (p.37~)

- 債務危機後の欧州にあって、プラス成長・貿易黒字・経常黒字を維持
- 強い経済・強い財政・強い社会保障を同時実現

【改革の経験】

- 1990年代バブル崩壊から金融・通貨危機へ、財政赤字が拡大
- 1991年以降、超党派の議論を踏まえた税制改革を断行
(例)法人税：課税ベース拡大、税率引き下げ(1991年57%→30%)
- 1990年代半ば、財政再建策を実施(EUによる財政基準への対応)
(例)社会保障給付縮小、高額所得者への一時的増税、複数年度予算制度導入

【スウェーデン・モデルの特長】

- 積極的労働市場政策を通じた、成長産業への人材シフト、女性活用
- 地方分権型税制・社会保障、政府への高い信頼感
- 産官学連携によるイノベーションの促進
- 産業のグローバル化と高度化促進

英国 (p.41~)

- 民間活力の活用、プロビジネスな環境整備、グローバル化の推進

【改革の経験】

- 1970年代、社会保障負担増等「英国病」により「欧州の病人」に
- 1979年、サッチャー首相の登場により、大胆な構造改革を推進
(国営企業民営化、失業者就労促進、減税・社会保障負担削減等)
- 労働党への政権交代後も、ブレア首相の下、「民営化・官民パートナーシップ促進」姿勢、プロビジネスの基本方針は維持

【英国モデルの特長】

- 他欧州諸国に比して緩やかな労働規制、ダイバーシティに富む人材
- 低い法人税率(1981年50%→2015年20%)
- EU域内の自由化、自由貿易促進への貢献

日本の経済成長・競争力強化に向けた示唆(p.47~)

- 改革断行に向けた政治のリーダーシップと、超党派の合意
- 産業・企業の新陳代謝の促進
- 産業・企業が担うコスト競争力の強化
- 自らの優位性を活かす環境の形成と戦略的活用
- 研究開発など産業基盤の強化・育成に向けた官民の役割分担の明確化
- 地方の自立、地方創生に資する地元産業と人材の育成
- 高度人材等、海外人材の積極的活用
- 企業経営、事業戦略のグローバル化の加速